

編集後記

取材と記事編集を終えての感想を、広報編集員の皆さんに綴っていただきました。

委嘱式



町内巡り



編集会議



嵐山町について知りたいと思い今回この企画に参加して、嵐山の歴史や自然に触れる事ができました。また、沢山の方々に読んで頂く広報紙を作るという貴重な体験ができ、とても有意義な時間を過ごす事ができました。今回私達にこのような機会を作ってくれた町長さん、私達のイメージを形にして下さった町の職員の方々、取材に行った先方で優しく接して下さいました方々全ての方々に感謝申し上げます。(M・N)

この嵐山町町制施行50周年の貴重な年に広報の製作に携わることができたことは私にとってとても良い経験になりました。私は長い間嵐山に通っているのですが、この町について知らないことがまだ沢山ありました。今回の取材や町内巡りを通して、嵐山の自然はもちろん、歴史や文化、また町の方々の温かさを直接感じることができました。そして嵐山町広報編集員として書き上げた記事を、この町に住む皆さんに読んで頂けることはとても嬉しいです。ぜひこの広報を最後まで楽しんで下さい。(A)



私がこのボランティアをしたい！と思ったのは、情報を提供する仕事を目指していて、提供する側の裏側はどのようなになっているか体験したかったからです。実際体験すると、沢山の方々のご協力の元で、チームで作成する中、伝え方を工夫するなど伝える相手にとって良いものにしてようと試行錯誤してみること、普段目にしたり耳にする情報は、どれだけ大切なことがよく分かりました。この経験を、必ず将来に活かしたいです。ありがとうございました。(F)

以前から興味があった編集員の仕事を、短い期間でしたが体験することができて、とても貴重な時間でした。記事を作るための取材や、レイアウトを考えるのは大変でしたが、担当してくださった方にアドバイスを頂きながら楽しく活動することができました。また、町内案内などもしていただき、沢山の自然と歴史がある嵐山の魅力を知ることができました。皆さんが私達の記事を読んで行ってみたい、と思っていただけたら嬉しいです。(Y)



私は今回、プブリエさんの記事を中心に担当させていただきました。取材に出かけた時は、嵐山の人達の人柄の良さに感動することがいくつもありました。インタビューにも一つ一つ丁寧に答えてくださったり、急な要望にも快く応じてくださいました。真っ白からのスタートでこうやって嵐山広報という形で記事を作ることができて幸せでした。協力してくださった方、読んでくださった方、本当にありがとうございました！(A・H)

当初は、自分に務まるか不安もありました。しかし、今回の活動を通して、新たに嵐山町の魅力を発見することができ、楽しく関わることができました。お世話になった皆様、ありがとうございました。そして、この広報紙を手にとって下さった皆様が、少しでもお楽しみ頂けたら幸いです。(ふうか)

私は今まで4年間通っている大妻嵐山がある嵐山町をもっと知りたいと思い、この企画に参加しました。取材をするのは初めてでとても緊張をしましたが、嵐山の方は皆さん心温かく、私たちも安心して取材をすることができ、温かい人柄にも触れることができました。また、私が知らなかった新たな嵐山町の魅力を再発見することができました。広報を書くことはとても勉強になり、参加して本当に良かったです！私たちに協力して下さいました皆様本当にありがとうございました！(まゆ)



1ページ半面1,000円
(カラーページは別)

◆発行日 平成29年10月1日 ◆発行 嵐山町
〒355-0211 埼玉県比企郡嵐山町大字杉山1030-1
☎0493-62-2150 ㊟0493-62-5935
URL <http://www.town.ranzan.saitama.jp/>
編集担当 地域支援課 ☎0493-62-2152

嵐山町あんしんメール



嵐山町公式ツイッター

嵐山町公式ツイッターを開始しました。
皆様のフォローをお待ちしています。

